

平成30年第4回東大和市議会総務委員会記録

平成30年10月16日（火曜日）

出席委員（7名）

| | | | |
|-----|--------|------|-------|
| 委員長 | 佐竹康彦君 | 副委員長 | 森田真一君 |
| 委員 | 大后治雄君 | 委員 | 押本修君 |
| 委員 | 蜂須賀千雅君 | 委員 | 東口正美君 |
| 委員 | 床鍋義博君 | | |

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

議会事務局職員（5名）

| | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 事務局長 | 鈴木尚君 | 事務局次長 | 並木俊則君 |
| 議事係長 | 尾崎潔君 | 主任 | 櫻井直子君 |
| 主任 | 高石健太君 | | |

会議に付した案件

（1）所管事務調査

公共施設等の管理運営のあり方について

午後 1時28分 開議

○委員長（佐竹康彦君） ただいまから平成30年第4回東大和市議会総務委員会を開会いたします。

○委員長（佐竹康彦君） 所管事務調査、公共施設等の管理運営のあり方について、本件を議題に供します。

10月2日に千葉県佐倉市へファシリティマネジメントの取り組みについて、視察を行いました。本日は視察内容について御意見、御感想等を御発言いただきたいというふうに思っております。

今皆様には当日、佐倉市からいただきました資料、お手元にお持ちのことかと思えます。この資料に基づきながら視察における御意見、御感想等述べていただければなというふうに思います。

まず、ちょっと私のほうから簡単に当日の内容、振り返りたいというふうに思うんですけども、佐倉市においては、ファシリティマネジメント推進基本方針、これを策定いたしまして、ファシリティ情報の一元化及び共有化、土地の利活用の促進、施設評価の実施等7つの実施方策を立てて施策展開をされておられました。

また、各課に分かれておられました部門を統合いたしまして、資産管理経営室を立ち上げまして、営繕人員を含みます31名体制で事業を推進しておられます。また具体的な事例、さまざま当日お伺いしたわけですが、保育園の改築事業、図書館や学校施設の複合化、消防署分署の建築、またE S C O事業の導入等々に取り組まれております。

特に、一部の学校のプールを廃止をいたしまして、市内の民間プールを活用することで、今後大幅にL C Cの削減も可能だというようなお話も伺うことができましたし、また今後東大和市でも取り組む予定になっております公共施設包括管理業務委託、これにつきましても、現在の佐倉市さんの取り組み、さまざま御説明をいただいたところでございます。当日は、この視察に関しましてさまざまな観点から委員の皆様からも活発に質疑等を行っていただきました。その質疑の内容等も再びこちらで取り上げていただくのも結構ですし、また全体を通しての御意見等もぜひともまたお述べいただければなというふうに思っております。

それでは、委員の皆様から何か御意見、御感想等述べていただければと思いますが、いかがでございましょうか。

○委員（床鍋義博君） まず、委員長も今述べられたように、まずプールのことがすごくよかったなというふうに思います。反発がすごくあるのかな、現場のほうで反発があるのかなという、実は現場の先生のほうが喜んでたという話を聞いて、すごくほっとしたということもあって、やはりスポーツにしる何にしる、専門家の指導というのはやっぱり大したものだなと、子供たちの泳力が上がったということなので一石二鳥かなというふうに思いました。

幸いにして、東大和市にも指定管理者、今やっているところもプールが備わってる施設もありますし、これで各学校とかのプールと、あと水道代が結構かかるって聞いてますので、それが削減されることもあります。逆に今度、全部それが削減された部分を今ある市内の市民プールとか、要望のある屋内プールとか、そういったところに活用できる可能性も非常にあるのかなというふうに考えて、プール事業に関しては送迎の問題とかがきっちりクリアされれば、佐倉市よりはもっとコンパクトな東大和ですから実現可能性がすごく高いなというふうに思いました。

あと、市役所の人員のところ、人材という点では、やはりファシリティマネジメントにおける重要な位置づけなのは、やっぱり技術者の役割がすごく大きいなと思いました。やっぱり建築士であるとか、そういった有資格者がきっちり管理をしてファシリティマネジメントを進めていくというふうにしていくことによって、

業者の言いなりにならないというか、そういったところも出てくるので、やはり単にファシリティマネジメントということだけではなくて、人事面も含めて総合的な戦略が必要であるというふうに思いました。

それは如実に最初の冒頭述べられて、建物だけではなくて、ヒト、モノ、カネとか、情報とかそういったものを一体として考えなければ、ファシリティマネジメントはうまくいかないんだよということをすごく感じた次第であります。

あと、ソフトウェアで新居浜に行ったときに、BIMMSがすごく使い勝手が安くていいよみたいは話を聞いて、ああ、そうなんだなって使っていない立場からすると安くて使いやすいんだったらいいのかなと思ったら、逆に佐倉市では全然使えなくて、スクラッチでつくるOCMAXというものを利用してるといったので、こっちは値段的にはかなり高いんだけど、実際効果はあるということなんで、やっぱりその辺ITとかそういったソフトウェアに関してちゃんと判断する人間も先ほどの人事面も含めてこちらのほうで高めていかなければ、よしあしが判断できないし、結構高い金額だったりすると入れてだめだったなという、結構やっぱりコストがかかってしまうことなので、この辺ちょっと慎重にやっていただきたいなというふうにちょっと思いました。

以上です。

○委員長（佐竹康彦君） ほかに御意見、御感想等ございますでしょうか。

○委員（大后治雄君） そもそもファシリティマネジメントを資産というくくりで始まっているところでありましてけれども、建物とかいう物理的な資産のみならず、この佐倉市においては、いわゆる自治体経営という視点にまで到達をしていると。全てをひっくるめてマネジメントするんだよというところまで到達しているということが私は今回、大変学んだという点であります。

やっぱり先駆自治体のこういったものを見るにつけ、やっぱり一つの物事だけに執着するのではなくて、やっぱり俯瞰的に全ての物事を見ながら行うことが自治体としての経営のあり方にやっぱり根本的な柱になってくるのかなというようなことを、感想を思いました。

以上です。

○委員長（佐竹康彦君） ほかに、御意見……

○委員（東口正美君） ありがとうございます。

ファシリティマネジメントとかと言われてしまうと、難しいかなというふうに思ってしまうんですけども、横串を刺すということ为例えば皆様、資料16ページ、データの分析、見える化の事例みたいところで、学校の下水道の料金を本当に学校ごとに並べて示すというだけでも気づきがあるというか、私たちも毎回決算報告書とか、また公共施設のそれぞれの白書とかもいただいて、データはあるけれども、そのデータの活用というところまでがまだまだ足りないのかなというように思いますし、このようにとってもわかりやすい、こういう表であれば、ここに何か問題があるんじゃないかなということを誰でもわかるような事例を見せていただくことで、この水道料金だけじゃなくて、電気料金、その他もろもろ、一つ一つのことの事例を横に並べていくと——ってことがわかるという具体的な事例が非常にわかりやすく、当市でも取り組みができるのではないかなというふうに思いました。

具体的な事例がどれも非常に魅力的で、全てをまねすることはできないんですけども、その後続く集中化とか、複合化とかということは、当市でも取り入れをすることができるのかなというふうに思います。

老朽化対策だけではなくて、今のことを老朽化に対する対策じゃなくて、その中にある問題を解決するため

に複合的に取り組むということを改めて一つ一つの事例を参考にしながら、当市でも取り組めるのではないかなというふうに思います。床鍋委員も言ったように、プールの件というのは非常に今後隣接している小中学校があるところとか、具体的なことも考えられたらいいのかなというふうに思っています。

あと、先ほどもプールの件を進めるときには、早くから学校の教育部門と話し合いを持った、また今図書館のことにも取り組みを進めているという中では、市民の方、また担当部との話し合いをファシリティマネジメントという観点で計画を固めてしまう前に市民に対しても説明をし、また一緒に考えるというような場を持っていくということで、お話の中では佐倉市も学校の統廃合に実は失敗したことがあるということまでお話をいただいて、どういうふうに住民と対話を進めていけば、最終的にお互い納得のいく理想の形に持っていかれるのかみたいなことを経験としてお持ちなので、そういうことも当市でも職員の皆様も学ぶ機会があれば、今後東大和市も公共施設を管理していくというだけではなくて、さまざまところで学べるのかなというふうに思いました。

公共施設ということにおいては、場所の提供が主ではなくて、そのそれぞれの事業のサービスをどのように提供していくのかということが大事だということもお話の中にもありましたので、この総面積を20%カットしていくという目標に向かってあらゆる知恵を働かせながら、官民連携の手法も存分に取り入れていただければというふうに思いました。

もう一つは、秦野市に行ったときもそうですけれども、佐倉市も早くからこのことに取り組まれていて、それぞれ違う物差しですけれども、きちんとした秦野市は秦野市、佐倉市は佐倉市の物差しを持っているときに、きちんと視察に来る我々の、東大和市のことを分析してくれて、それぞれの物差しで東大和市を見てくれるということができるといことがすばらしいなというふうに思いましたし、今回、佐倉市においては東大和市は面積も小さいし持っている公共施設も少ないし、とても理想的な状況であるということも評価をしていただきましたので、さらに当市の利点を生かせるようなことを今回、佐倉市で学んだ中から取り組みができればいいなというふうに思いましたので、そういう意味で委員会として提案ができればいいなというふうに思いました。

以上です。

○委員長（佐竹康彦君） ほかに御意見、御感想等ございますでしょうか。

○委員（森田真一君） 伺ったお話の中で幾つか印象的だなと思ったことがありました。例えばファシリティマネジメントってあちこちでも言うけれども、この佐倉市の場合は、営繕の皆さんが中心になってこれを自分たちが独自に編み出してきたという、そういうことに非常に自信をお持ちになってる。それは技術的な裏づけということも含めてなんだと思うんですけど、そこは非常に聞いてて印象に残ったところでありました。

それから、保育園の改築ですとか、図書館の改築ですとか、学校体育館の改築ですとか、いろいろ課題がある中で、早くから関係者や住民の方に複数のプランを示して、このプランではこういうメリット、デメリットがあるんですというのを、ちゃんときちんと明らかにしながら、住民に選択をしていただく。材料をきちんと提供するというようなことに非常に注力されているということに私たちは非常に学ぶところが多いのかなというのを思いました。

以上です。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

ほかに、御意見、御感想等ございますでしょうか。

今お手元の資料、今ページをめくってごらんいただいているかと思いますが、御発言いただいた方でも

結構でございますので、またお気づきの点等ございましたら、何か御発言等いただければというふうに思います。

特に皆様から御意見、御感想等ございませんでしょうか。

○委員（森田真一君） もう一つ、さっき言い忘れましたが、私、印象に残ったのは佐倉図書館の改築のところで御説明だったんですけども、今他の委員の方からも関連するお話ありましたけども、床面積で2割減らすということ、そのものを目標、当然指標にはしてるけども、それ自体をゴールにしてるんじゃないくて、地域の活性化にどう役に立てるかっていう、そういう視点で、時によっては床面積がふえるようなことになっても、これは必要なことをやるためになんだったということもおっしゃってたんで、そこはそういう目で見なきゃいけないんだと自分としては勉強になった次第です。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

そのほか、何か御意見、御感想等ございますでしょうか。

[発言する者なし]

○委員長（佐竹康彦君） 特にないようでしたら、ひとまずこれで佐倉市の視察に関します意見交換等を終了させていただきたいというふうに思っております。

ただいま委員の皆様からいただきました千葉県佐倉市の視察内容についての御意見等につきましては、所管事務調査、公共施設等の管理運営のあり方についての報告書に反映させていただきたいと思っております。

お諮りいたします。

所管事務調査、公共施設等の管理運営のあり方についてにつきましては、本日はこの程度にとどめたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（佐竹康彦君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

○委員長（佐竹康彦君） これをもって平成30年第4回東大和市議会総務委員会を散会いたします。

午後 1時45分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 佐 竹 康 彦